



村山たんぽぽ通信

【第3号】 2017年3月 発行 NPO法人 村山たんぽぽ 武蔵村山市学園3-59-3 TEL 042-569-8373

利用者の増加に対応し、利用者の皆さんが快適に過ごせるように、多目的室等の配置換えと、新しい備品を導入しました。



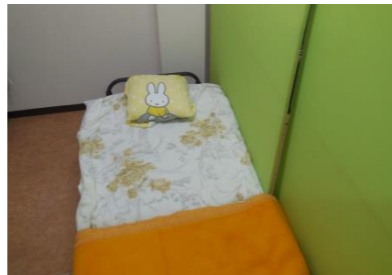
多目的室のテーブルとイスを増設し、給茶機や電子レンジ・オーブン等を導入



新しい下駄箱を設置



自主製品を展示するショーケースを設置



休養スペースを設置

村山たんぽぽ
自主製品

「十二支のビーズ・ストラップ」を販売中

1,000円

*** 自分の干支のストラップはいかがですか ***



<ご注文承ります>
042-569-8373

新しい職員を紹介します。



氏名	大勝 せつ子	職種	生活指導員(非常勤)
趣味	ウクレレ演奏・映画鑑賞	好きな言葉	心の柔軟性・感謝
自己紹介	新しい生活がスタートしました。私は「ライザ・ウインド」(風に乗る)という言葉が好きです。人生は逆風の時もあります。そんな時に、ふわっと軽やかにその風に乗れる心の柔軟性を持ってたらと思います。不慣れな私ですが、どうぞよろしくお願い致します。		

新春カラオケ大会を開催



去る1月2日(月)、学園四丁目にあるスナック『ぴゅあ』さんをお借りして、恒例の新春カラオケ大会を開催しました。

正月らしく料理もたくさん出て、皆さん料理を堪能しながら、自分の得意な歌を何曲も歌っていました。

村山たんぽぽのメンバーは本当に歌好きな人がとても多いです。

村山たんぽぽの一年は、大盛り上がり新春カラオケ大会からスタートしました。

たんぽぽバザーを開催

去る2月19日(日)、「たんぽぽバザー」を開催しました。多くの方々から寄贈いただいた、衣料品を中心に、靴・カバン・食器・飾りものなど多種類の商品を販売しました。

バザーのお知らせは、村山団地を中心にメンバーでお知らせチラシを配布しました。

当日は、多くのお客様にお越しいただき大変賑わいました。買い物をしていただいたお客様には、無料でお汁粉をサービスし、お客様に喜んでいただきました。

バザー終了後には、所長からの差し入れの「じゃがバター入り札幌みそラーメン」を皆でおいしくいただきました。

バザーの接客や会計、お汁粉づくり、昼食のラーメンづくりも利用者が分担してそれぞれ行いました。



次のバザーは、
4月16日(日)開催
9:30~12:00

※(注)写真は今回撮り忘れたため、昨年バザーの様子です。

村山たんぽぽ自主製品紹介

「幸せを呼ぶ!金のわらし」ビーズ・ストラップ 500円



職員のweb研修を始めました！



職員のweb研修の様子

本年1月より、NPO人材開発機構が提供している、障がい者支援施設向けオンライン職員研修である「サポーターズ・カレッジ」による職員のweb研修を始めました。

サポーターズ・カレッジの講師は、長年、現場で活躍しておられるプロ職員の方々に、支援のプロから、日々の業務の中での支援のあり方とやり方を学びます。

月1回、職員全員と一緒に受講し、テーマについてディスカッションを行います。

web研修には、パソコンがあればどこでも何回でも自分の都合の良い時間に学ぶことができるメリットがあります。

web職員研修の主な内容		
新人コース	中堅コース	管理職コース (3つのコース)
■障がい者支援の基本	■障がい者支援技術・知識	
■個別支援計画・ケース記録	■リスクマネジメント	
■虐待防止	■怒りのマネジメント	
■クレーム対応	■感染症対策	
■組織マネジメント	■知的障がいの理解・支援	
■自閉症の理解・支援	■強度行動障害の理解・支援	
■高齢障がい者の理解・支援	etc. となっています。	

今年も「元気フェスタ」のステージに、「たんぼぼ合唱団」が出演します！

『元気フェスタ2017』

日時 平成29年5月21日(日)

10:00~16:00

場所 武蔵村山市民総合センター



昨年の「元気フェスタ」でのステージの様子

昨年、初出演を行った「たんぼぼ合唱団」が、今年も「元気フェスタ」のステージに出演することになりました。村山たんぼぼでは、毎朝のミーティングの前に全員で歌をうたっています。また、月1回、音楽の先生を講師に迎えて、コーラスの時間を設けて歌の練習を行っています。現在、当日披露する歌(4曲)も決定し、練習を始めました。当日は観客の皆さんに喜んでいただける趣向を凝らしたステージしようと思っております。皆様「元気フェスタ2017」に是非お越し下さい。

〈利用者の声〉

入所5年目のHさん(50代女性)の声

■1日のスタートはラジオ体操と歌から始まります。朝のミーティングはみんなが個々に思っていることを感想を述べ、笑いが絶えません。施設内作業は、ビーズの装飾品や毛糸の手編み物、パステルハガキ画、七宝焼きアクセサリーの製作などを行っており、私は主に、毛糸の手編み製品を作っています。施設も新しくなり、給茶機やピアノやテレビ・シャワー室等もあり、恵まれた環境の中で作業ができることを嬉しく思っています。

入所5年目のKさん(30代男性)の声

■2か月に1回、市民活動センターの広報誌「コロボ・バ」を配布する仕事をしていると、威勢のいい声で、「ご苦労さん」と声をかけてくれる店の大将がいて、とても気持ちが良い。「村山たんぼぼ」は、下町のトラさんがいるような人情味のある作業所だ。これからも村山たんぼぼのみんなと一緒に絆を深め、努力しながら実りある人生を送れるように頑張っていきたい。

入所3年目のUさん(50代男性)の声

■「村山たんぼぼ」はいじめが無く、皆と仲良く作業ができるので、引きこもりだった私でも毎日通っています。やれる仕事がないと思っていたけど、職員さんの指導で色々できるようになり、食も進むようになりました。新しい作業も増えていくようなので、今までやったことのない作業も進んで挑戦し、楽しみながら自分の物にしていきたいと思っています。

最近入所されたKさん(20代男性)の様子

■(※Kさんは、話ができせん)朝のラジオ体操はだれよりもきれいな体操を行い、休み時間にはピアノ演奏を披露してくれます。最初は、大声を出したり、他人の腕をたたいたりして、他のメンバーも戸惑っていましたが、今はみんなが自分の弟のように見守ってくれるようになりました。Kさんが住むグループホーム職員の話では、「村山たんぼぼに通うようになってから表情が豊かになり笑顔が増え、他人に対する譲り合いの気持ちが持てるようになった。」ということです。

*****追悼*****

去る二月九日、長い間、村山たんぼぼの利用者として活躍された山田政弘さん(57歳)が、肝臓癌のため亡くなられました。兄貴肌の山田さんは、喧嘩ばやいとこも優しく、みんなに「政さん」と呼ばれて親しまれていました。村山たんぼぼが好きで、通院の時以外は毎日通所されていたそうです。癌に侵されて体調がすぐれない時でも、進んで外作業に従事されました。前に入院される1週間前に入院されましたが、その入院の前日まで、自らの望んで外作業に出られました。その頑張り姿が忘れられませんでした。心よりご冥福をお祈りいたします。



元気な頃の故 山田政弘さん

事業所内の配置換えと、新しい設備を導入したことで、利用者の方々に喜んでいただいている。また、来月には、現在、予備室となっていて、改修し、作業室として改修し、ユニットのキッチンを導入する予定です。支援学校高等部を卒業した方が入所されることになり、楽しみにしています。十分に引き出し可能性を、日々の研鑽に努めてまいります。また、利用者の工賃アップに向けて、新たな受託仕事の開拓と、新規事業の調査研究を進めていく予定です。利用者の皆さまの生活を送るうえで、自立した生活を送るよう頑張ります。

|

|